



平成 17 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社マルハグループ本社  
代 表 者 名 代表取締役社長 五十嵐 勇二  
(コード番号 1334 東証第一部)  
問 合 せ 先  
経営企画本部 広報・IRグループ長 川 文 人  
(TEL 03-3216-0821)

連結業績予想(平成 18 年 3 月期中間期及び通期)の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 23 日公表の連結業績予想(平成 18 年 3 月期中間期及び通期)を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前回発表予想(A)	360,000	6,800	2,700
今回修正予想(B)	348,000	7,000	1,200
増減額(B-A)	12,000	200	1,500
増 減 率	3.3%	2.9%	55.6%
前期(平成 16 年 9 月期実績)	368,025	6,349	2,147

(参考) 今回予想営業利益 6,200 百万円 (前回予想営業利益 8,000 百万円)

## 2. 中間期業績予想の修正理由

当中間期は、水産物輸入を主力とする当社グループにとって、海外エビ合弁事業の漁獲不振や世界的な原油高騰等による原魚高及び4月以降円安が進んだことによる輸入コストの上昇を余儀なくされ、この上昇分を売値に転嫁できず、売上高は当初予想から120億円減収の3,480億円、営業利益は当初予想から18億円下回る62億円となる見込ですが、経常利益は為替ヘッジによる営業外収支の好転で当初予想から2億円上回る70億円となる見込みです。

また、中間純利益につきましては、グループ中期三ヵ年経営計画で示しておりますように、「攻めの経営」に転換するため、なお一層の遊休不動産の売却・不振事業からの撤退等に加え、以下の内容による損失等を見込み、当中間期において32億円の特別利益と76億円の特別損失を計上する見込みとなり、その結果、特別損益は27億円悪化し、中間純利益は前回発表予想より15億円程度下回る12億円となる見込みです。

### (1) 主な特別利益

当社連結子会社であるギルアンドダファス㈱のキューバ砂糖公団に対する債権について一部回収が図られたことにより、19億円の貸倒引当金戻入額を計上致します。

### (2) 主な特別損失

金融商品に係る会計基準をより厳格に取り扱うことにより、回収遅延が生じている債権につき評価を見直した結果、当社連結子会社である神港魚類㈱の売掛債権6億円、マル八㈱のソロモン政府投資公社宛債権13億円に対して貸倒引当金19億円を計上致します。

減損処理につきましては、公表しております17億円を4億円上回る21億円を計上致します。

また、当社連結子会社の㈱マル八物流ネットは、グループ冷蔵事業再編に伴う新日本コールド㈱、梅田冷蔵㈱、大洋冷凍㈱との合併により退職金制度の改定並びに退職給付会計における簡便法から原則法への移行に伴い未認識債務9億円を計上することと致します。

3. 平成 18 年 3 月期連結通期業績予想の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想（A）	732,000	14,500	6,300
今回修正予想（B）	717,000	13,500	4,000
増減額（B - A）	15,000	1,000	2,300
増 減 率	2.0%	6.9%	36.5%
前期（平成 17 年 3 月期実績）	747,181	11,237	15,143

（参考） 今回予想営業利益 14,000 百万円 （前回予想営業利益 16,400 百万円）

4. 通期業績予想の修正理由

欧米を中心とする世界の市場における水産物の需要の高まり及び原油高騰による水産物のコスト上昇に対して、日本国内市場においては相変わらず低価格志向が強くコストの上昇分を販売価格に反映させることが非常に難しい状況にあります。

下期につきましても、引き続き厳しい環境が予想されるため、通期業績予想を上記のとおり修正致します。

なお、(株)マルハグループ本社の単体業績予想につきましては、平成 17 年 8 月 10 日公表の平成 18 年 3 月期中間期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）および平成 17 年 5 月 23 日公表の平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想どおりで変更はありません。

\* 上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上